



平成14年5月に開催された初級囲碁講座の修了生が、せっかく覚えた囲碁をもっと楽しもうと結成したサークルです。現在は50代、60代を中心に14人の会員が活動しています。活動内容は最初に資料を見て講師の解説を聞き、その後、くじで相手を決めて、対局します。

先を予測して打つ 奥深い囲碁の世界 囲碁の会

と呼ばれる領域の広い方が勝ちとなります。基本のルールは簡単ですが、碁盤上の線の交点にはどこにでも石を置くことができるため、次の一手の選択肢がとて多く、常に頭を使うゲームのことです。

囲碁の魅力は「常に何手か先を予測して、考えながら打つところが難しいし、とても奥が深い。でもそこがまた楽しい」と講師の方は話します。会員の方は「対局中は最善の手を考え続けるので、集中力が身に付くし、物事の全体を見て考える力も養える。ハンデイをつけたりして、強さや年齢に関係なく誰でもできるのも良いところ」と語ってくれました。自宅に帰ってもテレビや新聞、インターネットなどで研究し、どんなのめりこんでしまっただけです。

囲碁の会
代表 西谷内 元敬さん ☎34 8785
活動日 / 毎週木曜日 18時30分～20時30分
活動場所 / 住吉コミュニティセンター



市民のひろば

ぼくのわたしの夢 My Dream とまこまいの子どもたちの夢

聞いてみました!

富樫さんは自然風景や動物を撮る写真家になりたいという夢を持っています。本が好きで、本の中にあつた美しい風景写真を見て、「こんな写真をも自分も撮ってみたい」と思ったことがきっかけのことです。今は携帯ゲーム機のカメラで学校や自宅周辺の、身近な風景を撮影して楽しんでるそうです。今まで撮った写真の中では、「金太郎池に行く途中に見える樽前山の風景が一番好き」と笑顔で話す富樫さん。将来は「本に載せられるような素敵な風景を撮って、みんなに見てもらいたい。自分で解説をつけた写真集も出したい」とはにかみながら話してくれました。



富樫 聖香さん (清水小学校6年)

小・中学生の皆さんの「夢」を200字程度に書いて、写真を添えて送ってください

今月の表紙



～たるまえサンフェスティバル～
9月12日(土)、13日(日)にアルテンで「たるまえサンフェスティバル」が開催。恒例の鮭のつかみどりに、大勢の子どもたちが挑戦。元気に泳ぎまわる鮭を捕まえると、満面の笑みがこぼれました。

タウンスケッチ

～まちの出来事～
Town Sketch

新施設で大いに盛り上がる 高齢者福祉センター祭開催



9月2日(水)、3日(木)に新しい施設になって初めての「高齢者福祉センター祭」が開催されました。会場には陶芸や華道、パステル画など多彩な作品が展示され、来場者の目をひきつけました。また、大正琴や踊りなどの芸能発表も行われ、場内からは大きな声援が送られました。期間中は、サークルの日ごとの活動成果を見ようと、高齢者を中心に多くの市民が訪れ、活気に満ちた祭りを楽しみました。

あなたの意見を市政に まちかどミーティング



生活に密着した市政の課題などについて市民と市長が意見交換を行う「まちかどミーティング」が8月25日(火)の音羽町地区から始まりました。皆さんの意見を市政に反映する貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。今後は11月まで開催され、各地区の開催日は11ページに掲載されています。

太極拳・卓球交流大会が苫小牧で開催 ねんりんピック北海道・札幌2009



60歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の祭典「ねんりんピック北海道・札幌2009」が9月5日(土)～7日(月)に市内で開催。駒澤大学が会場の太極拳交流大会では、全国から64チームが参加し、息の合った演武が披露されました。華麗な技が決まるたび、大きな拍手が送られました。

私のギャラリー My gallery

～私の作品見てください～



栄町 中田 哲義さん

「うちの太陽」 (パステル画)

モチーフは楽しそうな雰囲気が入った写真です。目を中心とした表情を出すのにとても苦労しました。パステル画を始めて約8年になりますが、いつも3～4枚同時進行で描き、今までに50作品ほど描きました。自分の思い通りに完成すると喜びがあります。



有珠の沢町 宮 恒夫さん

「一輪挿し」 (陶芸)



手びねりの方法で作り、鉄赤とわら灰で色を付けています。サイズが小さいので少しずつ変化をつけて作りました。一輪挿しですが、お酒を入れて使うこともできます。陶芸を始めて15年以上になりますが、焼き上がりを窯から出す瞬間がいつも楽しみです。